

活用データ名・ 指標名	指標ID	単位	備考	データの値																			
				自地域					都道府県平均・合計					全国平均・合計					比較地域				
				島根県	安来市				2021	2022	2023	2024	2025	2021	2022	2023	2024	2025	2021	2022	2023	2024	2025
要支援・要介護認定者数(要介	B3-a	人	見える化・時系列(比較地域と比較)(各年度年報	2,808.0	2,786.0	2,848.0	2,847.0	2,794.0	47,608.0	47,015.0	46,961.0	46,603.0	46,440.0	6,765,995.0	6,814,344.0	6,952,265.0	7,075,896.0	7,225,575.0	11,858.0	11,647.0	11,781.0	11,686.0	11,728.0
要支援・要介護認定者数(要介 介護度別)※第2号被保険者 を含む	B3-b	人	見える化・時系列(比較地域と比較) (各年度年報)	2,842.0	2,820.0	2,883.0	2,880.0	2,825.0	48,194.0	47,608.0	47,534.0	47,118.0	46,962.0	6,895,735.0	6,944,377.0	7,083,236.0	7,207,487.0	7,359,234.0	12,013.0	11,801.0	11,943.0	11,827.0	11,868.0
認定率	B4-a	%	見える化・時系列(各年度年報)	20.3	20.4	20.9	21.2	21.0	20.8	20.7	20.8	20.8	20.8	18.9	19.0	19.4	19.7	20.2	19.9	19.6	19.8	19.7	19.8
調整済み認定率(要介護度 別)※第2号被保険者を含む	B4-b	%	見える化・時系列(比較地域と比較) (各年度年報)	20.5	20.6	21.2	21.4	21.3	21.0	20.9	21.0	21.0	21.1	19.2	19.4	19.7	20.1	20.5	20.2	19.8	20.1	20.0	20.0
調整済み認定率	B5-a	%	見える化・時系列(比較地域と比較)(各年度年報	15.6	15.3	15.6	15.8	15.7	15.9	15.6	15.5	15.5	15.6	16.6	16.3	16.4	16.5	16.7	16.0	15.5	15.5	15.4	15.4
調整済み認定率(要介護3～ 5)	B6-a	%	見える化・時系列(比較地域と比較) (各年度年報)	4.6	4.5	4.4	4.3	4.4	5.1	5.0	4.9	4.8	4.8	5.6	5.5	5.5	5.4	5.4	5.0	4.8	5.0	4.9	4.9
調整済み認定率(要支援1～3	B6-b	%	見える化・時系列(比較地域と比較)(各年度年報	10.9	10.8	11.2	11.5	11.3	10.8	10.6	10.6	10.7	10.8	11.0	10.8	10.9	11.1	11.3	11.0	10.7	10.6	10.6	10.5

全国平均等との比較 全国平均と比較して 認定率は、約1%高い。 調整済み認定率は約1%低い。 重度認定率は、約1%低い。 軽度認定率は、全国平均とほぼ同じ。 島根県平均と比較して 認定率は、同程度～若干高くなっている。 調整済み認定率はほぼ同じ。 重度認定率は、若干低い。 軽度認定率は、若干高くなっている。	全国平均等との乖離について理由・問題点等の考察（仮説の設定） 全国平均との差 認定率の差は高齢者全体のうち、後期高齢者の割合が高い ためではないか。 重度認定率が低いのは、軽度のうちから一般介護予防事業 や在宅サービス等を利用して、重症化を一定程度防いでいる のではないかと。 重度認定率の低さについては、 在宅サービス受給率(%) 全国 安来市 支援1 支援2 支援1 支援2 支援1 支援2 支援1 支援2 R5年 0.9 1.4 1.7 1.7 31.7 50.5 47.5 63.2 R6年 0.9 1.4 1.8 1.9 32.1 51.3 46.1 64.2 R7年 1.0 1.5 2.0 2.0 33.3 52.4 51.3 66.9 要介護認定率(75歳以上) 全国 支援1 支援2 介護1 介護2 介護3 介護4 介護5 R5年 4.5% 4.3% 6.5% 5.2% 4.1% 4.0% 2.5% R6年 4.6% 4.4% 6.5% 5.2% 4.0% 3.9% 2.4% R7年 4.6% 4.4% 6.6% 5.2% 4.0% 3.9% 2.4% 安来市 R5年 5.5% 4.2% 8.4% 4.6% 3.8% 3.8% 2.2% R6年 5.7% 4.3% 8.2% 4.6% 3.6% 3.7% 2.1% R7年 5.9% 4.3% 7.4% 4.5% 3.8% 3.4% 1.9% 要介護度の低い支援1、2について、在宅サービス受給率と在宅サービス利用率の両方で、全国平均を上回っている。 また、認定率については要支援1～要介護1は安来市の割合が高く、要介護2～5は、全国平均の割合が高い。 よって、要介護度の低いうちからサービスを受けて、介護度が上がることを一定程度防ぐことができているのではない かと思われる。	問題を解決するための対応策（理想像でも可） 引き続き、介護予防ケアマネジメント及び、一般介護予防事業の推進等により、重度化防止の対策に努める。 また、適正な認定が行われるよう働きかけを行い、審査委員や認定調査員の研修等を行う。
--	--	---

自由記述
調整済み認定率の要介護3～5について、平均より下回っていることは、介護予防、フレイル予防、日常生活支援等の各種取り組みが功をそうしているのではないと思われる。

			2021	2022	2023	2024	2025	2021	2022	2023	2024	2025	2021	2022	2023	2024	2025	2021	2022	2023	2024	2025	
受給率(施設サービス)	D2	%	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで.R7 はR8/2サービス提供月まで)	3.9	3.9	4.0	4.1	4.2	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	2.8	2.8	2.9	2.9	2.9	3.0	3.0	3.1	3.1	3.0
要支援・要介護者1人あたり 定員(施設サービス別)	D28	人	見える化・時系列 (介護サービス情報公表システムおよび各年度 月報)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
要支援・要介護者1人あたり 定員(居住系サービス別)	D29	人	見える化・時系列 (介護サービス情報公表システムおよび各年度 月報)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
受給率(居住系サービス)	D3	%	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで.R7 はR8/2サービス提供月まで)	1.4	1.4	1.6	1.7	1.9	1.7	1.7	1.7	1.7	1.8	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4	1.7	1.7	1.6	1.7	1.7
要支援・要介護者1人あたり 定員(通所系サービス別)	D30	人	見える化・時系列 (介護サービス情報公表システムおよび各年度 月報)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2
受給率(訪問介護)	D32-a	%	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで.R7 はR8/2サービス提供月まで)	1.1	1.2	1.3	1.4	1.3	2.6	2.6	2.6	2.5	2.5	2.9	2.9	2.9	3.0	3.0	3.2	3.1	3.1	3.1	3.1
受給率(訪問入浴介護)	D32-b	%	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで.R7 はR8/2サービス提供月まで)	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
受給率(訪問看護)	D32-c	%	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで.R7 はR8/2サービス提供月まで)	1.1	1.3	1.3	1.2	1.2	1.8	1.9	1.9	2.0	2.1	1.8	1.9	2.0	2.2	2.4	2.5	2.4	2.4	2.6	2.8
受給率(訪問リハビリテーショ ン)	D32-d	%	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで.R7 はR8/2サービス提供月まで)	0.8	0.8	0.9	0.9	1.0	0.8	0.8	0.8	0.9	0.9	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.6	0.6	0.7	0.7	0.8
受給率(居宅療養管理指導)	D32-e	%	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで.R7 はR8/2サービス提供月まで)	0.6	0.8	0.8	0.8	0.9	1.6	1.7	1.7	1.8	1.9	2.6	2.7	2.9	3.2	3.4	2.1	2.1	2.2	2.3	2.5
受給率(通所介護)	D32-f	%	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで.R7 はR8/2サービス提供月まで)	2.7	2.7	2.6	2.7	2.5	3.3	3.2	3.1	3.0	3.0	3.1	3.1	3.2	3.3	3.3	2.9	2.8	2.7	2.6	2.5
受給率(通所リハビリテーショ ン)	D32-g	%	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで.R7 はR8/2サービス提供月まで)	2.4	2.3	2.4	2.4	2.4	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.7	1.7	1.5	1.4	1.5	1.5	1.5
受給率(短期入所生活介護)	D32-h	%	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで.R7 はR8/2サービス提供月まで)	0.9	0.9	1.0	1.0	0.9	1.1	1.0	1.1	1.1	1.1	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7
受給率(短期入所療養介護)	D32-i	%	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで.R7 はR8/2サービス提供月まで)	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1
受給率(福祉用具貸与)	D32-j	%	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで.R7 はR8/2サービス提供月まで)	7.6	8.0	8.1	8.2	8.0	8.6	8.9	8.9	9.0	9.2	6.9	7.1	7.3	7.5	7.8	8.6	8.9	9.0	9.2	9.4
受給率(定期巡回・随時対応型 訪問介護看護)	D32-k	%	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで.R7 はR8/2サービス提供月まで)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
受給率(夜間対応型訪問介護)	D32-l	%	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで.R7 はR8/2サービス提供月まで)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3
受給率(認知症対応型通所介護)	D32-m	%	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで.R7 はR8/2サービス提供月まで)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
受給率(小規模多機能型居宅 介護)	D32-n	%	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで.R7 はR8/2サービス提供月まで)	0.7	0.7	0.6	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
受給率(看護小規模多機能型 居宅介護)	D32-o	%	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで.R7 はR8/2サービス提供月まで)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
受給率(地域密着型通所介護)	D32-s	%	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで.R7 はR8/2サービス提供月まで)	1.2	1.2	1.3	1.2	0.9	1.6	1.7	1.7	1.6	1.7	1.1	1.1	1.2	1.2	1.2	1.6	1.6	1.5	1.4	1.5
受給率(在宅サービス)	D4	%	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで.R7 はR8/2サービス提供月まで)	10.6	10.8	10.9	11.1	10.9	11.8	12.0	11.9	11.9	12.0	10.2	10.4	10.5	10.8	11.0	11.7	11.7	11.7	11.8	11.9

全国平均等との比較 施設サービスの受給率は、全国平均より1% 程度高い。島根県と比較しても0.5%程度高い。 居住系サービスについては、全国平均より 0.5%程度高く、県平均と大きく変わりがなかつ た。 在宅サービスの受給率は、全国平均と比較し てはほぼ同じであるが、県平均と比べると1%程 度少ない。 訪問介護・訪問看護については、全国や県の 平均より1～1.5%低くなっている。	全国平均等との乖離について理由・問題点等の考察（仮説の設定） 施設サービスについては、認定者に対する施設サービス定 員数が全国平均より高くなっていると考えられる。そのため、 施設利用者の割合も多くなっていると考えられる。 また、高齢者世帯の割合が多いため、家庭で介護が対応で きない場合や、その他訪問看護や訪問介護で対応できず施設 へ入る人数が多くなるのではないかとと思われる。 在宅サービスについては、訪問リハビリテーションや通所リハ ビリテーションは、全国や島根県より受給率が高く、リハキリ の意識が高いのではないかと考えられる。 一方、訪問介護や訪問看護は受給率が低く、サービスが利用 できないあるいは頻回に利用できない状況があるのではない かと考えられる。 訪問介護サービスについては、全国・島根県平均よりも受給 率が低く、事業所及び人員の不足が考えられる。	設定した仮説の確認・検証方法 R7施設サービス事業所数(人口10万人に対する) 安来市 島根県 全 国 介護老人福祉施設 11.4 14.0 6.9 介護老人保健施設 5.7 5.0 3.4 介護医療院 8.5 2.2 0.8 地域密着型介護老人福祉施設 5.7 3.6 2.1 入居者生活介護 施設サービスについては、どのサービスも全国、島根県より事業所数は多く、特に介護医療院については全国の10倍 以上の数となっている。介護認定者一人あたりの定員数も、全国や島根県の値より高くなっている。 高齢者のいる世帯の割合(%) 安来市 島根県 全 国 H28年 64.1 52.1 40.7 H30年 64.0 51.9 40.7 R 2年 63.8 52.8 40.7 高齢者が世帯にいる割合は、県より約10%、全国より20%以上高くなっている。 訪問介護事業所数(人口10万人に対する) 受給者1人あたりの回数 安来市 島根県 全 国 安来市 島根県 全 国 R4年 19.2 33.2 29.2 R4年 17.2 23.8 28.2 R5年 16.7 33.5 29.8 R5年 17.0 24.6 27.2 R6年 17.1 33.3 30.1 R6年 17.3 25.5 28.4 訪問看護事業所数は全国、島根県とも増加傾向にあるが、安来市は減少傾向であり、訪問介護が受けにくい状態に なっていると思われる。また、受給者1人当たりの利用回数も全国や島根県平均と比べて低くなっている。 訪問看護事業所数(人口10万人に対する) 受給者1人あたりの回数 安来市 島根県 全 国 安来市 島根県 全 国 R4年 13.7 17.2 12.6 R4年 6.0 6.6 8.9 R5年 13.9 17.4 13.7 R5年 6.0 6.8 9.9 R6年 14.2 18.1 14.7 R6年 5.6 6.8 9.0 総じて、島根県平均より事業所数は少なく、全国平均とはあまり差はない、ただ、受給者1人あたりの回数は、全国平 均よりも少なく、県平均とほぼ同じである。	問題を解決するための対応策（理想像でも可） 引き続き、市民に必要なサービスの確保及び適切なサービスの利用に努める。 施設サービスについては、利用状況を把握しながら適正な数を確保していく。今後の人口減少の推移や施設待 機者数を注視しながら、適切な数の確保に努めていく。 在宅サービスについては、対象の方に早期につながるよう支援し、適切なサービスを利用することで重度化を 防ぐように努めていく。特に訪問介護に関しては、奥部の中山間地域などの方は、移動時間が長く利益が出にく いため、撤退などにより、サービスの必要な方が利用できなくなることがないように、事業所数及び就業者数の 確保する対応が必要となる。
---	---	---	--

ninn

